

◆ 目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（5月22日～5月28日掲載分）
 - ・ 報道発表
 - ・ お知らせ
 - ・ 各種情報
 - ・ 各種手続き
- 2 現場レポート
 - ・ 別府港に巨大豪華ホテルが出現？
 - ・ 本省幹部が九州の“ホットピックス”を視察
- 3 お知らせ
 - ・ 海の仕事「マリンワーク2014」パネル展開催
 - ・ グリーン経営推進講習会開催情報
 - ・ 「外国人旅行者向け消費税免税制度に関する説明会」開催
- 4 イベント情報

———— 1 九州運輸局ホームページアップ情報 ————

（5月22日～5月28日掲載分）

----- 報道発表 -----

◆長崎地域造船造機技術研修センターで修了式～若き造船マン25名の旅立ち～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0526-sennpaku.pdf>

◆登録自動車・軽自動車の一部のナンバーを抽選番号に移行します

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0528-kanri.pdf>

----- お知らせ -----

◆平成26年度第1回自動車検査員教習の日程等について（日程追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0523-seibi.htm

◆鹿児島市でグリーン経営推進講習会を開催します

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0523-kankyo.htm

◆平成26年度九州運輸局管内整備管理者選任前研修（前期）日程について（5月27日付け更新）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0527-0942-24.htm

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

◆企画競争実施公示（平成26年5月26日分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

◆契約結果に係る情報の公表（平成26年4月分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KEIYAKU_KEKKA

《九州統計情報》

◆自動車登録・整備関連（自動車保有車両数 26年4月分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryousuu26-04.pdf

◆自動車登録・整備関連（新規登録自動車数 26年4月分追加）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2604.pdf

◆自動車登録・整備関連（燃料別自動車保有台数 26年4月分追加）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu2604.pdf

----- 各種手続き -----

《海技試験制度・合格発表》

◆総合合格発表

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file05_01/sougou_260528.pdf

----- 2 現場レポート -----

◆別府港に巨大豪華ホテルが出現？

平成26年5月12日（月）午後からの少し強い雨の降る中、大分市内から、別大国道（国道10号線）を通過、別府タワーを過ぎ、別府国際観光港に近づくと、突然、右前方に巨大豪華ホテル？のような物体が出現しました。そして、その周辺の舗道上には地元の市民と思われる多くの方々がカメラを片手にその巨大な物体を撮影しているのが見えてきました。

そこには、全長およそ310メートル（ジャンボジェットだと、約4機分！新幹線だと、12車両分！）もの超巨大なバハマ船籍の豪華客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ（総トン数は、およそ13万8千トンでアジア最大、乗客の定員はおよそ3,800人）」が、岸壁（第4埠頭）を一杯いっぱいを使って着岸していました。

この船は、別府港にこれまでに寄港した最大の大型旅客船である「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」のほぼ2倍もの大きさで、5月5日に東京を出発した後、那覇や台湾、長崎などを回って別府には今回が初めての入港だそうです。

岸壁に設置されている旅客ターミナルの周りには、この大型客船の寄港を受けて多くの観光バスが待機し、また、タクシー乗り場には本船から下船されてきた方々の長蛇の列が出来ていました。この頃には、生憎の雨も一時小雨となっており、船を下りた乗船客は、地獄巡りや臼杵石仏、湯布院観光に繰り出されていました。

旅客ターミナルの中に入ってみると、市や観光団体などの方が特産品の竹細工や観光パンフレットを配布し、ミス別府や地獄めぐりのキャラクター「鬼っ子（着ぐるみ）」との記念撮影も行われ、船旅を楽しむ台湾や日本人観光客らおよそ1800人を歓迎していました。

一方、船内では初入港の歓迎式典が開催され二日市具正大分県副知事、県国際観光船誘致促進協議会会長の浜田博別府市長が歓迎の挨拶をし、これに対し、リアン・スベリー船長が「別府市には、レジェンド・オブ・ザ・シーズ乗船時に1度来たがとても綺麗なところです。今回は、限られた時間でゆっくり過ごせませんが、次回別府に来るときはゆっくりしたいと思っている。式典参加の皆様には、この後の船内見学をお楽しみ下さい。」とお礼の挨拶をされました。その後、ミス別府からの花束贈呈、別府市から初入港記念のオリジナルプレートの贈呈などが行われ歓迎ムードが盛り上がりました。

その後の船内見学では、まるで別世界のような「ロイヤルプロムナード」と呼ばれる4層吹抜けの通りに有名ブランド店やレストランなど様々な施設が広がり、そこには1つの街が存在しているかのようで、まさに「洋上の街」と評されるとおりました。

船内には、約1300名収容のシアター、カジノ（公海上に出たから開場するそうです。）、アイススケートリンク、プールデッキやロッククライミング壁面等が設置されており、その設備のすばらしさには驚嘆させられました。

また、その設備を利用したイベントやアクティビティが盛りだくさんであり、船内を案内していただいた方が、「お客様にとって部屋は帰って寝るためのものですよ。」と仰ってましたが、まさにその通りだろうと思いました。加えて、「タイタニックの映画にあるような豪華な船内設備ですよと紹介されあと、最初の出港後には全てのお客様を対象に『避難訓練』を実施しています。」と仰ったことに安心感をもちました。（※豆知識：ご参照）

あまりにも豪華な船内や充実したクルーズ内容から、一緒に船内見学に同行された方の中には個人的に乘る気満々と見える方が色々具体的な質問をしていらっしゃったのが大変印象的でした。

今年度、別府港に予定されているクルーズ船の寄港は13回と去年の2倍以上に増える見込みで、大分県や別府市への観光客の増加による経済効果も期待されます。「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」は、同日、午後8時に市民約300人に見送られながら、最終着地の神戸港へ向かいました。

（※豆知識）

旅客船は多くの旅客の命を預かって運航しているので、万一非常事態が発生した場合は、旅客の安全を確保しなければならないという重大な責任が、法律的にも、道義的にも存在します。

日本の旅客船の場合、操練（そうれん）実施基準及び救命設備の点検は、船員法施行規則により実施内容が定められており、外航旅客船の場合は、旅客の乗船後24時間以内に旅客に招集訓練、避難要領等の周知を内容とした旅客の避難のための操練を実施する事が義務づけられています。

※豪華客船「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」入港の様子は下記URLからどうぞ。
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_263_1.pdf

【大分運輸支局 総務企画部門】

◆本省幹部が九州の“ホットトピックス”を視察

去る5月23日（金）、24日（土）、国土交通本省から、本田勝国土交通審議官、藤井直樹公共交通政策部長ほか2名が地域公共交通等の視察のため九州を訪れました。

初日は、福岡県八女市を訪問し、平成25年度の地域公共交通優良団体大臣表彰を受賞した乗合タクシーに関する取組を視察。市長等との意見交換後、熊本県熊本市へ移動し、同市が取り組む路線バスの再編等について市長等と意見交換を行い、市

内路線バスの状況や、再開発の予定が決まっている交通センターの現況を視察しました。

翌日は、JR九州の熊本車両センターにおいて、フリーゲージトレイン第3次試験車を視察。実際の軌間変換の様子はまだ見学できなかったものの、試験機器がところ狭しと設置された車内の様子や、複雑な機構の台車、端正なデザインの車体等、興味深い見学となりました。

次に、鹿児島県出水市へ移動し、肥薩おれんじ鉄道の社長等との意見交換後、今年リニューアルされた阿久根駅の駅舎、社員自ら環境整備に取り組む薩摩高城駅の様子を見学。その後、薩摩川内市の川内港を訪問し、今年3月末に就航した甕島高速船と待合ターミナル、高速船の就航にあわせて運行を開始したシャトルバス（大型電気バス）等を視察し、いづれも水戸岡鋭治氏デザインによる、一体性のあるデザインによって、地域活性化に取り組もうとする姿勢に感心の様子でした。

今回の視察では、陸海空の各モードでのホットトピックスについて本省幹部に直に見ていただくことができ、たいへん有意義だったと考えております。ご協力をいただきました関係者の皆さまに、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。九州運輸局としては、今後とも、九州各地で行われている先駆的な取組について、九州内外に積極的に情報発信をしていきたいと考えております。

※国土交通審議官視察の様子は下記URLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_263_2.pdf

【企画観光部交通企画課】

3 お知らせ

◆ “海の仕事「マリンワーク2014」パネル展”

九州運輸局では、平成26年6月5日から6月20日までの15日間福岡合同庁舎新館1階ロビーにおいて、“海の仕事「マリンワーク2014」のパネル展”を開催致します。

この、パネル展は、6月20日開催予定の「めざせ！海技者セミナー in FUKUOKA」に先駆け、内航海運業と船員の仕事を目的に実施するものです。

【海事振興部 船員労政課】

◆ グリーン経営推進講習会開催情報

九州運輸局では、グリーン経営の普及・推進を図るため、平成26年8月6日～7日にグリーン経営推進講習会を開催します。

グリーン経営とは、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定レベル以上の取り組みを行っている事業者に対して、認証・登録を行うもので、同マニュアルに基づ

く事業者の環境改善の努力を客観的に証明することにより、取組意欲を高め、企業の社会的評価の向上を図るとともに、業界における環境負荷の低減につなげていくものです。

また、環境負荷の低減だけでなく、燃費向上や交通事故、車両故障の削減等にも効果があることも、グリーン経営の取り組み事例から確認されています。

今回は、次の場所で開催します。

- ・トラック事業：鹿児島市（H26.8.6）
- ・バス、タクシー事業：鹿児島市（H26.8.7）

詳しくは、下記URLに掲載しています。ふるってご参加下さい。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0523-kankyo.htm

【交通環境部 環境課】

◆「外国人旅行者向け消費税免税制度に関する説明会」を開催します（再掲）

外国人旅行者向け消費税免税制度では平成26年10月から、従来免税販売の対象となっていなかった「消耗品」（食品、飲料、薬品、化粧品等）が新たに免税販売対象となります。

ショッピングは外国人旅行者の日本来訪目的の上位であり、これにより、外国人旅行者の増加や、食品・飲料といった地域産品等の販売増加が期待されます。そのため、九州運輸局及び九州経済産業局では相談窓口を設置するなど免税店拡大のための取組を進めております。

その一環として、平成26年6月4日（水）に九州運輸局にて民間事業者、観光関係事業者、経済団体、地方自治体等を対象に、外国人旅行者向け消費税免税制度の概要や改正内容、免税店許可申請手続き等についての説明会を開催いたします。ご興味がある方はぜひとも参加をお待ちしております。

説明会の詳細及びお申し込みは下記アドレスを確認の上、九州経済産業局産業部流通・サービス産業課まで申込用紙のFAXをお願いします。

電話：092-482-5455 FAX：092-482-5959

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0514-kankou.pdf>

【企画観光部 観光地域振興課】

4 イベント情報

◆小浜温泉ジャカランダフェスタ

日時：6月1日（日）～6月30日（月）

場所：長崎県雲仙市小浜町

概要：開催期間中には、小浜の夜を楽しめるジャカランダのライトアップ他楽しいイベントも。一緒に「小浜ちゃんぼん」はいかがでしょうか（ジャカランダとは、紫の花を咲かせる亜熱帯性の植物です）

◆菖蒲まつり

日時：5月31日（土）～6月15日（日）

場所：福津市宮司元町7-1 宮地嶽神社

概要：100種10万株の江戸菖蒲が咲き誇り、期間中は民家村民芸展やうまいもの市を開催予定しています。

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

先週、先々週の週末は、小学校や中学校の運動会など各地でいろんな行事が行われていたようです。天気は快晴、気温もぐんぐん上がり、日焼けで真っ赤になったという方も多いのではないのでしょうか。

いっぽう、この好天も長くは続かないかもしれません。気象庁HPによると、平年の梅雨入りは九州北部が6月5日頃、九州南部は5月31日頃とのことです。この好天もあと少しかもしれません。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
